

ネイティブ パチルス・セレウス L-ロイシン デヒドロゲナーゼ

Cat. No. NATE-0391

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ロイシン脱水素酵素 (EC 1.4.1.9) は、次の化学反応を触媒する酵素です:
$$\text{L-ロイシン} + \text{H}_2\text{O} + \text{NAD}^+ \rightleftharpoons \text{4-メチル-2-オキソペンタン酸} + \text{NH}_3 + \text{NADH} + \text{H}^+$$
。この酵素の3つの基質はL-ロイシン、H₂O、およびNAD⁺であり、4つの生成物は4-メチル-2-オキソペンタン酸、NH₃、NADH、およびH⁺です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD⁺またはNADP⁺を受容体とする供与体のCH-NH₂基に作用するものです。この酵素はバリン、ロイシンおよびイソロイシンの分解およびバリン、ロイシンおよびイソロイシンの生合成に関与しています。

別名 ロイシン脱水素酵素; L-ロイシン脱水素酵素; L-ロイシン:NAD⁺ 酸化還元酵素 (脱アミノ化); LeuDH; EC 1.4.1.9; 9082-71-7

製品情報

由来 パチルス・セレウス

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.4.1.9

CAS登録番号 9082-71-7

活性 60-120 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)

単位定義 1ユニットは、pH 10.5、37°Cで1分あたり1.0 μmoleのL-ロイシンをα-ケトイソカプロ酸に換えます。

保管・発送情報

保存方法 -20°C